



Bold : How to Go Big, Create Wealth and Impact the World

Peter H. Diamandis, Steven Kotler 著, Simon & Schuster (2015), 336p., \$28.00, ISBN : 978-1476709567

本書は「楽観主義者の未来予測」の著者として知られている Peter H. Diamandis 氏と Steven Kotler 氏の最新作である。

Peter H. Diamandis 氏は民間のロケット打ち上げに 1,000 万ドルの賞金を出した、X プライズの創設者としても有名だが、シンギュラリティ（技術的特異点）に関する著者でも知られている。Ray Kurzweil 氏とともに、シンギュラリティ大学を創設したことも知られている。

私が Peter H. Diamandis 氏を初めて知ったのは、英語の勉強のためにと見た TED トークで彼のスピーチを見たのがきっかけだった。

その中で、「私たちの脳は膨大な情報の中からまずは悲観的なものに目を向けるようにできているため、世の中は悲惨な事件やできごと、また将来への不安や課題が山積みのように感じてしまうが、人類はこれまで最終的に問題を解決してきたのだから、もっと楽観的に捉えよう」と伝えていたのが印象的だった。

本書でも、3D プリント、人工知能、ロボット工学等を例に出し、技術進化のスピードは増し、世界は指数的に成長しているが、どこかネガティブに捉えている風潮がある。マインドセットを行い、技術革新を楽観的に捉え、富を築き、世界を変えるようなイノベーションを生み出そうと述べている。

本書の内容は大きく 3 つに分かれている。

第 1 部「BOLD TECHNOLOGY」では、指数関数的に成長している技術進化について述べられている。3D プリントや人工知能、ロボット工学、ゲノムや合成生物学等を取り上げ、世の中の指数関数的な成長を“Six D's of Exponentials”モデル—“Digitalization”, “Deception”, “Disruption”, “Demonetization”, “Dematerialization”, “Democratization”にわけ、解説している。しかしこのような進化はこれまで大企業を倒産に追いやったり、混乱を招いている。一方 2020 年までには 1 兆以上のセンサが私たちの生活に浸透し、センサネットワークがもたらす

利益は 19 兆ドルにもものぼると予想されていると指摘している。

第 2 部「BOLD MINDSET」では、マインドセットを変え、実際に世界を変えるようなイノベーションを生み出している人物として、スペース X 社の Elon Musk 氏、ヴァージン社の Sir Richard Charles Nicholas Branson 氏、Amazon 社の Jeffrey Preston Bezos 氏、Google 社の Larry Page 氏を例に、彼らの大胆な行動へと駆り立てる目的と情熱について紹介している。

第 3 部「THE BOLD CROWD」では、クラウドの可能性について述べている。

2000 年前後に T シャツのオンラインデザインで出現した“クラウドソーシング”を紹介。指数的に発展したクラウドソーシングにより新しい会社やミリオネアを多く生み出した。私たちも意識せずに参加している CAPTCHA システムなどを例にクラウドソーシングプロジェクトについて触れ、クラウドソーシングの上手な活用方法についても述べている。

また“クラウドファンディング”についても触れ、クラウドファンディングのおかげで、これまでかかった時間やコストのほんの一部で、資金の調達から、システムやプロダクトの構築、販売さえも実現でき、アイデアを持っている人たちには素晴らしいオプションであること、クラウドファンディングを成功させるための立ち上げ方や企画方法、具体的な進め方についても言及している。

そして最後には、大きな挑戦を実現させるために、インセンティブ競争の重要性、コミュニティ形成の大切さについて述べている。

本書は日本語訳はまだされていないが、電子書籍で読むことができるので、興味がある方はぜひ読んでいただきたい。

(2015 年 8 月 13 日受付)

辻田 眸 (正会員) hitomi@syncphase.com

2010 年お茶の水女子大学大学院博士課程修了、博士(理学)。米国ジョージア工科大学客員研究員、日本学術振興会 特別研究員 PD (東京大学暦本研究室所属) を経て、(株)シンクフェーズを設立。